

- 車内設備と喫煙車の関係（受動喫煙防止対策状況）がひと目でわかる -  
JR北海道特急・急行・快速列車の編成表（2010年3月13日現在）

©作成・半沢一宣

！営利目的での無断転載を禁じます。学術研究など非営利目的で使用される場合でも、事前に作成者までご連絡ください。

\* 季節や時間帯によって、指定席の一部が自由席に（またはその逆に）変更になる列車があります。

\* 乗り込み調査データ欄の車両番号などは、原則として車いす対応座席付き車両のものを記しました。

参考資料 『鉄道ジャーナル』月刊、鉄道ジャーナル社  
『JR電車編成表 '05冬号』ジェー・アール・アール

### 記号の説明

指 = 指定席	自 = 自由席	グ = グリーン車
展 = 展望席	定 = 定員制	個 = 個室（セミコンパートメント等を含む）
H = 車いす対応座席	h = 車いすスペース	M = 多目的室
B = ベビーベッド付トイレ（車いす対応）	b = ベビーベッド付トイレ（車いす非対応）	
W = ベビーベッド無トイレ（車いす対応）	w = ベビーベッド無トイレ（車いす非対応）	
O = オストメイト対応トイレ（車いす対応）		
P = 公衆電話（車いす対応）	p = 公衆電話（車いす非対応）	
V = 飲料自動販売機（車いす対応）	v = 飲料自動販売機（車いす非対応）	
K = 売店	k = 車内販売準備室	C = 車掌室
♥ = A E D（自動体外式除細動器）		S = 喫煙コーナー

細字 = 受動喫煙が発生していない禁煙車  
**ゴシック体** = 喫煙車  
**斜字** = 喫煙コーナーがある禁煙車（下記注を参照）  
**斜字** = 喫煙車または喫煙コーナーに隣接している禁煙車（同上）  
\*印 = 増結車（連結しない列車があります）

注：「喫煙車または喫煙コーナーに隣接している禁煙車」について

2004年秋に、産業医科大学（福岡県北九州市）産業生態科学研究所の大和浩教授の研究班が、営業列車内の粉じん濃度に関する立ち入り調査を行いました。その結果、喫煙車または喫煙コーナーに隣接している禁煙車では、隣接する喫煙車などからドア開閉時に、もしくは空調装置を経由して流入するたばこ煙によって、両側を禁煙車に挟まれた禁煙車両と比べて著しく高い、厚生労働省が定めた職場の環境評価基準をオーバーする高濃度の粉じんが検出されました。このことから、本表で「**ゴシック体**」「**斜字**」「**斜字**」のいずれかで表現した車両は、いずれも受動喫煙を防止できていない、公衆衛生上問題がある車両であると言えます。

！JR北海道は2009年9月30日限りで、すべての道内特急列車で公衆電話の営業を終了しました（本州直通列車をのぞく）

【函館本線～宗谷本線＝名寄・稚内方面】

スーパー宗谷（キハ261系）

- \* 通常は 号車の予備車両を増結した6両編成（下表の編成）で運転されますが、代わりに 号車の予備車両を増結する場合があります。
- \* 号車の洗面所（個室構造）におむつ交換台があります。
- \* 号車に設置されていた喫煙コーナーは灰皿が封鎖されただけで、改装は行われていません。
- \* 号車の1A席（宗谷本線内で東側）が車いす対応座席です。号車の同じ番号の席も車いす対応座席ですが、自由席のため利用できない場合があります。

乗り込み調査実施記録

2007年2月25日（日曜日）札幌8時30分発「スーパー宗谷1号」

車両番号・ 号車＝キハ260-102（1999年・富士重工製）

稚内				札幌			
					*	*	
グ	k	指	w指	指HB	指	自HB	自

サロベツ（キハ183系）

- \* 号車の12番AB席と 号車（増結時は札幌方先頭車）の17番AB席はパノラマ席です（運転室越しに前面が展望できます）。
- \* 号車に設置されていた喫煙コーナーは、荷物置き場に改装されています。

乗り込み調査実施記録

2007年2月25日（日曜日）札幌12時20分発「サロベツ号」

車両番号・ 号車＝キハ183-1503（1986年・富士重工製。2000年にJR北海道苗穂工場でトイレ・喫煙コーナー設置などのリニューアル改造を実施）

稚内			札幌		
			*	*	
指vw	指w	w指	w自	自	

【函館本線～石北本線＝北見・網走方面】

オホーツク（キハ183系）

\* 遠軽～網走間は逆向き（遠軽方が 号車、札幌・網走方が 号車）。

\* 下表に示した調査列車の編成から増号車の3両を抜いた4両が基本編成です（調査列車の増号車3両は増結車）。

\* 号車に設置されていた喫煙コーナーは、荷物置き場に改装されています。

乗り込み調査実施記録

2007年2月25日（日曜日）札幌7時21分発「オホーツク1号」

車両番号・ 号車＝キハ182-6（製造・改造年およびメーカー名などは失念）

遠軽

網走・札幌

	* 増	* 増21	* 増22				
自k	自w	指w	指w	指w	指	C	グw
							k指

【石勝線～根室本線＝帯広・釧路方面】

スーパーおおぞら、スーパーとかち（キハ283系）

\* 繁忙期には最大10両編成で運転されます。増結車（～ 号車）の車種・設備は列車により異なります。下表では調査列車での例を記しました。

\* 号車に設置されていた喫煙コーナーは灰皿が封鎖されただけで改装されていません。

\* 号車の1A席（根室本線内で太平洋側）が車いす対応座席です。

多目的室は、同じく釧路湿原側です。

乗り込み調査実施記録

2007年2月25日（日曜日）札幌9時04分発「スーパーおおぞら3号」

車両番号・ 号車＝キハ282-4（製造年・メーカー名は失念）

！2007年10月1日から、基本の編成が「スーパー北斗」と同じ7両編成に増強されました（調査時の基本編成は6両）。

釧路（スーパーおおぞら） 札幌  
帯広（スーパーとかち） 札幌

指b	指k	kグCb	指	指HMB	自	b自
----	----	------	---	------	---	----

（スーパーおおぞら（13・2号以外））

指b	指k	kグCb	指HMB	自	b自
----	----	------	------	---	----

（スーパーおおぞら13・2号）

（スーパーとかち5・8号）

指b	指k	kグCb	指HMB	指	b指	指	*	*	*
							指	自HMB	b自

（調査列車の編成、増結時は札幌寄りの2両のみが自由席）

【石勝線～根室本線＝帯広・釧路方面の続き】

スーパーとかち（キハ261系）

\* 多客期には 号車と同じ仕様の車両を増結して、最大8両編成で運転されます。  
 増結時は、札幌寄りの2両のみが自由席となります。

\* 号車の13番A席（石勝線内で南側）とD席（同じく北側）が車いす対応座席です（肘掛け跳ね上げ式）

号車の多目的室は、石勝線内で北側です。

（乗り込み調査未実施）

帯広				札幌			
					*	*	*
グMk	BH指C	指b	自b	自			

（スーパーとかち1・3・7・9・2・4・6・10号）

【函館本線～千歳線～室蘭本線＝旭川・室蘭方面】

スーパーカムイ～エアポート（789系、エアポートは快速列車）

\* 札幌～新千歳空港間は逆向き（新千歳空港方が 号車、札幌方が 号車）

\* 号車の1A席（函館本線内で石狩川側）が車いす対応座席です（肘掛け跳ね上げ式）。  
 また、号車の1A席（同じく石狩川側）と1D席（同じく夕張山地側）も車いす対応座席ですが、自由席のため利用できない場合があります（優先席として運用）

（乗り込み調査未実施）

旭川・新千歳空港			札幌	
自b	自v	自	OH指C	bH自

スーパーカムイ～エアポート、すずらん（785系、エアポートは快速列車）

\* 札幌～新千歳空港間は逆向き（新千歳空港方が 号車、札幌方が 号車）

\* 号車の1A席（函館本線内で石狩川側、室蘭本線内で海側）が車いす対応座席です。  
 また、号車の1A席と1D席も車いす対応座席ですが、自由席のため利用できない場合があります（車いす優先席として運用）

\* 号車のトイレ付近には洗面所はありません。

乗り込み調査実施記録

2007年2月26日（月曜日）

新千歳空港20時19分発「エアポート203号～スーパーホワイトアロー29号」

車両番号・ 号車＝モハ784-504（NE4編成、2001年・日立製）

号車＝クハ785-4

（1990年・日立製。2003年・JR北海道苗穂工場にて改造）

旭川・新千歳空港（スーパーカムイ） 札幌

室蘭（すずらん） 札幌

自	b自v	自	BH指C	bH自
---	-----	---	------	-----

【函館本線～千歳線＝小樽・新千歳空港方面】

エアポート（721系、快速列車）

\* 札幌～小樽間では全車自由席の普通列車として運転される列車があります。

また、新千歳空港～札幌間の普通列車としても運転されます。

\* 号車の1A席（千歳線内で夕張山地側）が車いす対応座席です。

号車の車いすスペースは、千歳線内で支笏湖側です。

乗り込み調査実施記録

2007年2月25日（日曜日）札幌6時34分発「エアポート60号」  
（F4103＋F4203編成）

車両番号・号車＝サハ721-4103（2003年・川崎重工製）

新千歳空港

札幌・小樽

自w	自	自hB	CH指	自	h自

【室蘭本線～函館本線＝函館方面】

スーパー北斗2・7・16・21号（キハ283系）

\* 下表に示した調査列車の編成から号車を抜いた7両が基本編成です（「スーパー北斗」の基本7両編成と共通。調査列車の号車は増結車）。

\* 号車に設置されていた喫煙コーナーは灰皿が封鎖されただけで、改装は行われていません。

\* 号車の1A席（室蘭本線内で山側）が車いす対応座席です。

多目的室は、同じく海側です。

乗り込み調査実施記録

2007年2月25日（日曜日）札幌7時00分発「スーパー北斗2号」

車両番号・キハ282-3（製造年・メーカー名は失念）

函館

札幌

					*		
指b	指Sk	kグCSb	指S	指HMB	指	自S	b自

スーパー北斗1・3・6・9・10・12・13・17・18・22号（キハ281系）

\* 下表に示した調査列車の編成から増号車と号車を抜いた7両が基本編成です（調査列車の増号車と号車は増結車）。

\* 号車に設置されていた喫煙コーナーは灰皿が封鎖されただけで、改装は行われていません。

\* 号車の1A席（室蘭本線内で山側）が車いす対応座席です。

多目的室は、同じく海側です。

乗り込み調査実施記録

2007年2月25日（日曜日）札幌10時37分発「スーパー北斗10号」

車両番号・号車＝キハ280-4（製造年・メーカー名は失念）

函館

札幌

			*増			*		
指w	指k	kSグCw	kSグCw	指	指HMB	指HMB	自	w自

【室蘭本線～函館本線＝函館方面の続き】

北斗4・5・8・11・14・15・19・20号（キハ183系）

\* 下表に示した調査列車の編成から 号車を抜いた5両が基本編成です（調査列車の号車は増結車）

\* 4・15号以外の6本（130km/h運転列車）にはお座敷車が増結される場合があります。

\* 号車と 号車（増結時は札幌方先頭車）の、いずれも17番AB席はパノラマ席です（運転室越しに前面が展望できます）

\* 号車はハイデッカーグリーン車で、旧・喫煙コーナーは荷物置き場になっています。

乗り込み調査実施記録

2007年2月25日（日曜日）札幌10時37分発「北斗8号」

車両番号・ 号車＝キロ182-2501（製造年・メーカー名は失念）

函館			札幌				
指	指w	kCグw	* 指w	* 指w	* 指w	自w	自

【室蘭本線～函館本線～津軽海峡線＝函館・青森方面】

はまなす（14系、急行列車）

\* 青森～函館間は逆向き（函館方が 号車、青森・札幌方が 号車）

\* 号車はカーペットカーです。

\* 号車には女性専用席があります（下表では「レ」と表示）

乗り込み調査実施記録

2007年2月25日（日曜日）青森22時45分発「はまなす号」

函館			青森・札幌			
C B 寝w	w B 寝レ	Cv 自w	w カレ	w 指レ	w 指	w 自vC

スーパー白鳥、つがる6号（789系）

\* 青森～八戸間は逆向き（函館・八戸・弘前が 号車、青森方が または 号車）

\* 号車の1A席（東北本線内で陸奥湾側）および1D席（同じく八甲田山側）が車いす対応座席です（通路向きに回転、かつ肘掛け跳ね上げ可能）

多目的室は、同じく八甲田山側です。

\* 2007年3月18日から完全禁煙になりました。

乗り込み調査実施記録

2007年2月27日（火曜日）八戸8時52分発「スーパー白鳥95号」

（HE104+HE204編成）

車両番号・ 号車＝クロハ789-104（2002年・川崎重工製）

再調査実施記録

2007年9月1日（土曜日）八戸10時15分発「スーパー白鳥1号」

（HE105+HE203+HE301の8両編成）

車両番号・ 号車＝クロハ789-105（製造年・メーカー名は失念）

函館・八戸

（スーパー白鳥）

青森

八戸・弘前

（つがる）

青森

						*	*
グ	指HMkB	S自C	自	bp指	指	b指	指
							b指

【季節運転のリゾート列車】

流水特急オホーツクの風（キハ183系「ノースレインボーエクスプレス」車両）

- \* 冬季運転の臨時列車で、春には函館～弘前間で「さくらエクスプレス」としても運転されます。
- \* 遠軽～網走間は逆向き（遠軽方が 号車、札幌・網走方が 号車）。
- \* 号車と 号車はパノラマ構造です（運転室越しに前面が展望できます）。
- \* 3号車は2階建て車両で、1階はラウンジです。

乗り込み調査実施記録

2007年2月25日（日曜日）札幌8時04分発「流水特急オホーツクの風」  
 車両番号は失念（1992年・JR北海道苗穂工場にて改造）

遠軽			札幌・網走			
展指w	指	w	指 ラK	C	k自	w指展

トマムサホロスキーエクスプレス（キハ183系「クリスタルエクスプレス」車両）

- \* 冬季運転の臨時列車で、初夏には札幌～富良野間（富良野線経由）で「フラノラベンダーエクスプレス」としても運転されます。
  - \* 3号車は2階建て車両で、1階は普通個室（4人用×3室）です。
- また、売店は営業を休止しています。

乗り込み調査実施記録

2007年2月25日（日曜日）  
 札幌11時05分発「トマムサホロスキーエクスプレス」  
 車両番号は失念（1989年・JR北海道苗穂工場にて改造）

新得			札幌			
展指w	Cv指	自ラ 指	K	w指展		

ニセコスキーエクスプレス（キハ183系「ニセコエクスプレス」車両）

- \* 冬季運転の臨時列車で、春には札幌～様似（日高本線）間「優駿浪漫」としても運転されます。
- \* 号車と 号車はパノラマ構造です（運転室越しに前面が展望できます）。

乗り込み調査実施記録

2007年2月25日（日曜日）札幌8時05分発「ニセコスキーエクスプレス2号」  
 車両番号は失念（1988年・JR北海道苗穂工場にて改造）

札幌		ニセコ	
指w	v指	w自	

以上